

6/9 大人顔負けの俳句が次々と
～九州俳句大会で上位入賞～

▶市民サービスセンター横に、受賞作品が掲示されています



九州俳句大会で、橋本和夏さん(府本小)、石橋惇晃君(平井小)、石橋正教君(平井小)の作品がジュニア部門の最高賞となるジュニア賞を受賞しました。3人は荒尾市俳句協会が春・夏休みに行う少年少女俳句教室で俳句を勉強。「夏休みの俳句教室でもたくさん俳句を作りたい」と話していました。また本大会では石橋理香子さん(府本幼稚園)、野田菜月さん(八幡小)、内野奈智さん(荒尾一小)の作品もジュニア奨励賞を受賞しました。

寿 100歳
おめでとうございます



田中ミシヲさん(大島町三丁目)

6月27日に100歳の誕生日を迎えられました。戦前は看護婦として働いていました。戦後は衣料品店を営む傍ら、華道の師匠もしていました。現在は、孫9人、ひ孫16人の大家族のおばあちゃんです。家族は「いつも笑顔で、誰からも愛される性格」と話していました。健康の秘訣は、好き嫌いをなく何でも食べることです。

6/9・10 日頃の学びの成果を披露
～ふれあいエポック・荒尾まつり～

▶力作が並ぶ展示会場も賑わいました



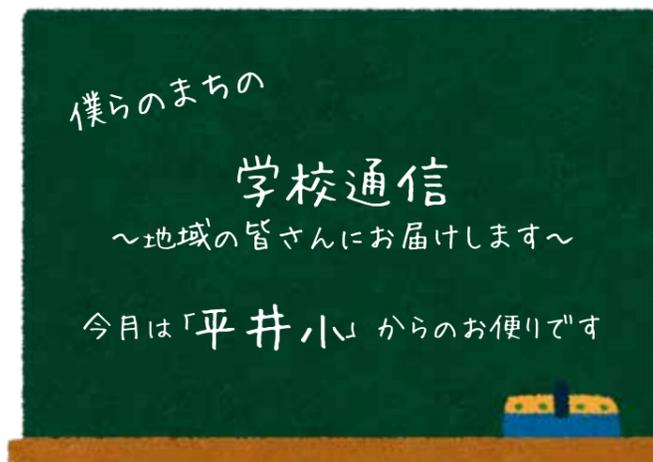
働く女性の家(エポック・荒尾)と中央公民館を会場に、第36回ふれあいエポック・荒尾まつりが開催されました。会場には俳句、色鉛筆画、樹脂粘土、パッチワークなどの作品が展示され、ゆっくりまつりを楽しめるように、うどんや味噌飯などの料理のバザーや、裏千家のお茶席も設けられていました。また、体育室のステージではダンス、カラオケ、健康体操、太極拳などが披露され、会場に詰めかけた多くの人の目を楽しませていました。

6/12 靖国神社に小代焼が竣成
～いざないプロジェクトさくら陶板計画～

▶井上泰秋さん夫婦と奉納されたさくら陶板



靖国神社の外苑・慰霊の庭に、小代焼ふもと窯井上泰秋さんが作成した陶板が奉納されました。「いざないプロジェクトさくら陶板計画」は、靖国神社創立150年の記念事業として、本殿に参拝する皆さんの「みちしるべ」になるようにと3年前に始まりました。「さくら陶板」は各都道府県の陶工に依頼され、御祭神に縁のある故郷の土を使い、神社の象徴ともいえる桜をモチーフにした陶板を制作、奉納し、全国から寄せられた慰霊の心を形に表したものです。



『笑顔まんかい 平井小』
～もっと前へ、もっと高く～

今年度の学校教育目標『確かな学力と豊かで健やかな心身を持ち主体的創造的に生きる子どもの育成』の下、学校スローガンを『笑顔まんかい平井小～もっと前へ、もっと高く～』とし、児童と職員が一つになって取り組んでいます。

5月26日 令和最初の運動会を行いました



応援団の児童は、自主的に練習を行い、下級生を終始リードしながら素晴らしい応援を見せました。6年生は運動会を盛り上げるため、紅組・白組の大きな絵を制作しました。先生たちもプログラムに競技の見所を入れたり、オリンピックにちなんだ競技を考えたりするなど、多くの種目で工夫をし、運動会を盛り上げました。ことしも地域やPTAの皆さんに、入退場の竹門を制作していただきました。運動会全体を通して、ことしの教育目標に掲げている主体性、創造性が発揮された運動会になりました。学力向上や心の教育の面でも前進を続けていきます。

おまな内容 main contents

学校通信	2
まちの話題	3
荒尾干潟水鳥・湿地センター	6
保健・健康	8
子育てのひろば	11
相乗りタクシー	14
職員採用試験	16
市政情報掲示板	18
市民病院からのお知らせ	20
あらおのいきいき企業	21
くらしの情報	22
試験・募集・イベント	28
はじめてのHAPPY BIRTHDAYなど	33
図書館情報	34
文化センター情報	35
相談の窓口など	36
あらおカレンダー	38

声の広報 [文字による情報入手が困難な障がい者のための音声録音版広報紙]
圃福社課福社係 ☎ 63-1406
荒尾市ホームページ
http://www.city.arao.lg.jp/

★荒尾市強調月間★
8月は「節水の月」

UD FONT by MORISAWA
広報あらおは見やすく読み間違えにくいユニバーサルデザインフォントを使用しています。